

海外安全対策情報（2021年10月～12月）

1 社会・治安情勢

ウガンダでは、学校の閉鎖や夜間外出禁止令などの新型コロナウイルス感染拡大防止措置が1年以上続いており夜間の住居侵入、強盗などが頻繁に発生し治安が悪化しています。日中においても在留邦人が強盗にあい受傷した事件も発生していますので、徒歩やバイクなど攻撃を受けやすい移動手段の利用は極力避けてください。また、賊が住居へ侵入し金品を強奪する事件が複数回発生しています。住居の選定は慎重に行い、就寝前には必ず戸締の確認と寝室の施錠を励行してください。

新型コロナウイルスの感染状況は、12月中頃から新規感染者が急増し1日あたり1000人を超える日が継続しています。また、映画館やスポーツイベント、学校の再開など経済活動を優先した規制緩和が予定されており一層の感染拡大が予想されますので、引き続き感染予防に努めてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪

(1) 邦人被害事案

ア カンパラ市

(ア) 11月8日午前4時半頃、Ntinda地区のアパート3階へ賊が侵入し住人をナイフで脅し現金、パソコンなどが奪われました。また、他のアパート住人も同様の被害にあいました。

(イ) 12月19日午前2時頃、Muyenga地区のアパート2階へ賊が侵入しパソコン、携帯電話などが奪われました。

イ ワキソ県

12月18日、エンテベ空港で手荷物チェックを受けた際、警備員にカバンに保管していた現金を窃取されました。

(2) その他の注意すべき事案

ア カラモジャ地区

継続して牛泥棒と治安当局等との銃撃戦で死者が発生しています。

イ カンパラ市

ムエンガ地区などで、バイクや徒歩で移動中の外国人が金品目的で襲われ受傷する事件が発生しています。

昼夜を問わず、複数名で構成される賊がバイクを使用し、路上で金品を強奪する事件が増えています。

3 テロ・爆弾事件発生状況

2021年10月23日、カンパラ市カウェンペ地区の飲食店で爆弾が爆発し従業員を含む数名が死傷しました。その後、10月25日にカンパラ発ブシェニ行き長距離バス内で自爆テロ、11月16日にカンパラ市ナカセロ地区のウガンダ国会議事堂と中央警察付近で自爆テロが連続して発生し30名以上が死傷しました。このテロ事件に関し、イスラム過激化組織ISや反政府勢力ADFが関係していると発表されています。

予期なく発生する誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした子供、女性の誘拐事件が多数発生しており邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中の夜間移動は控え警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

書類の偽造や詐欺事件などが発生していますので取引の際は慎重な審査、調査を行ってください。事務所、自宅への侵入事件が多発しており居住エリアの選定において、周囲の治安情報を収集しソフトターゲット（防犯能力が低く狙われる対象）にならないよう、高層階かつセキュリティがしっかりした物件を選び、入居後も侵入が容易な場所はないか定期的にチェックし警備レベルの維持向上に努めてください。

以上